

環境経営レポート

令和5年度

(対象期間：令和5年6月1日 ～ 令和6年5月31日)



日本の棚田百選に選ばれている蕨野の棚田 棚田ウォーキングの様子（唐津市相知町）

当社近郊にある棚田です。

エコアクション21の取組により、この豊かな自然を守ることを
改めて認識しています。

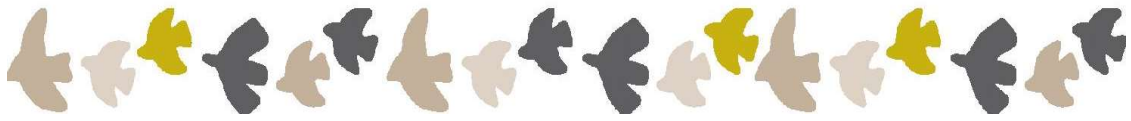
昨年より『つなぐ棚田遺産』のオフィシャルサポーターとして
この蕨野の棚田と協定を締結しました。



発行日：令和6年6月6日

株式会社 土井組

目 次



1.	目次	．．．	P1
2.	組織の概要／認証・登録の対象範囲	．．．	P2
3.	実施体制図	．．．	P3
4.	環境経営方針	．．．	P4
5.	環境経営目標	．．．	P5
6.	環境経営計画	．．．	P6
7.	環境経営目標の実績	．．．	P7
8.	環境経営計画実施状況と次年度の取組	．．．	P8
9.	環境経営活動の内容と実績①～③	．．．	P9～10
10.	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価	．．．	P11
11.	代表者による見直しと全体評価	．．．	P12



1.組織の概要



- 1) 事業所名 株式会社土井組
代表者氏名 代表取締役 土井寛之
- 2) 所在地 本社 佐賀県唐津市相知町平山上甲 1 2 0 1
資材置場 佐賀県唐津市相知町平山上岩本甲 1 7 6 0
- 3) 環境管理責任者 土井寛之
担当者氏名 土井美希
連絡先 TEL 0955-62-2703 FAX 0955-62-3300
Eメールアドレス kdoigumi@athena.ocn.ne.jp
- 4) 事業の内容 土木工事業、石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業
水道施設工事業、とび・土工工事業、管工事業
舗装工事業、造園工事業
(佐賀県知事許可(特・般-1)第1795号)
- 5) 事業の規模 完成工事高 135百万円(R5年度)



本 社 社 屋

	単位	本社	資材置場
従業員数	人	13	0
延床面積	m ²	260.59	1185



資 材 置 場

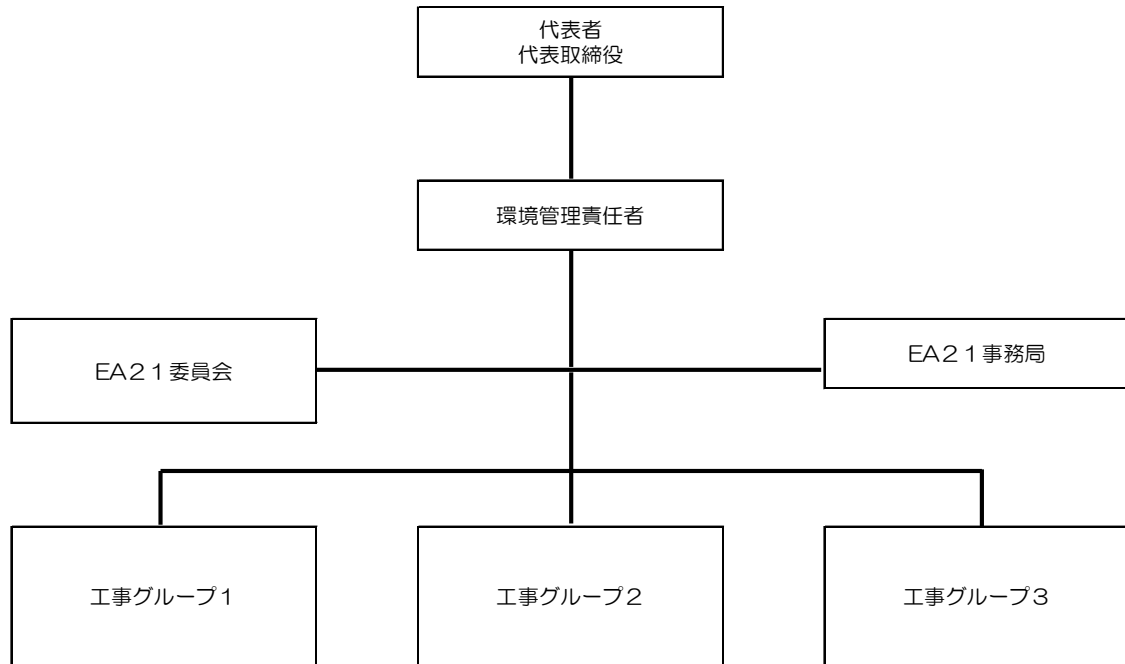
- 6) 事業年度 6月～翌年5月

2.認証・登録の対象範囲

- 1) 事業活動 土木工事業、石工事業、鋼構造物工事業、しゅんせつ工事業
水道施設工事業、とび・土工工事業、管工事業
舗装工事業、造園工事業
- 2) 対象事業所 本社、資材置場
全社・全事業対象としている。



実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	・ 代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・ 環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・ 環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・ 環境への取組を実施するための資源（人・もの・金）を準備する ・ EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	・ EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し 実行し、環境実績を向上させる ・ 毎年、環境目標、環境活動計画を作成する ・ 3ヶ月に1回、環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況を確認・評価する ・ 上記の結果を代表者に報告する
EA21委員会	・ 3ヶ月に1回開催し、環境目標及び環境活動計画の実施状況を審議する
EA21事務局	・ 環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・監理を行う ・ 社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	・ 環境方針、環境目標、環境活動計画を部門全員に周知する ・ 環境目標達成の為、責任をもって自部門の環境活動を推進する ・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・ 自部門に関連する法規制等を順守する ・ 自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・ 自部門の教育、訓練を実施する
全従業員	・ 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

環 境 経 営 方 針

株式会社土井組は『建設工事を通じて社会的信用を確立するとともに、
信頼される技術と品質において地域社会に貢献し、
適正なる利潤の追求と確保を成し、安全第一をモットーに信頼の絆を深め、
会社の発展と社員の幸福を目指すことを経営の基本とする』という経営方針に基づいて、
地球環境の保全と汚染の予防を経営の重点課題とし、地球にやさしい活動を行います。

1. 次の項目を重点項目として継続的に改善に取り組みます。

- (1) 電力、燃料等のエネルギーの効率的な使用および省エネに努め、
二酸化炭素排出量を出来る限り削減することに努めます。
- (2) 廃棄物排出量を把握し、建設材料のリサイクル等の適正処理に努めます。
- (3) 水を使用するときは節水に努めます。
- (4) 建設資材や印刷用紙・文具類はグリーン購入を心がけます。
- (5) 地域社会に貢献し、環境保全に努めます。
- (6) 環境に配慮した施工及び施工提案等を行います。

2. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守し、環境経営の継続的改善を実施します。

制定日 平成29年12月1日

改定日 令和3年6月1日

株式会社土井組

代表取締役 土井寛之



環境経営目標

(令和5年～令和7年)

環境目標		サイト区分	単位	基準年	目 標		
	年度削減目標等			R4年度	R 5 年度 1 %	R 6 年度 2 %	R 7 年度 3 %
				R4年6月 ～R5年5月	R5年6月 ～R6年5月	R6年6月 ～R7年5月	R7年6月 ～R 8 年5月
1	二酸化炭素排出量の削減	全社	k g - C O ₂	112,946.9	111,817	110,688	109,558
	①電気使用量の削減	事務所	k W h	10,405.0	10,301	10,197	10,093
	②ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,616.9	3,581	3,545	3,508
		現場	L	7,858.0	7,779	7,701	7,622
	③軽油使用量の削減	現場	L	31,918.8	31,600	31,280	30,961
2	①一般廃棄物排出量の削減	事務所	k g	12.0	11.9	11.8	11.6
	②産業廃棄物排出量の削減	現場	t	336.5	333	330	326
	③産業廃棄物排出量の抑制 (リサイクル率95%以上)	現場	%	9 5 %以上	9 5 %以上	9 5 %以上	9 5 %以上
3	水使用量の削減	事務所	m ³	60.0	59.4	58.8	58.2
4	地域貢献 継続維持 ①事務所・現場周辺の清掃	全社	清掃回数	12.0	12.0	12.0	12.0
	地域貢献 ②蕨野棚田のボランティア活動	全社	参加人数	12.0	13.0	14.0	15.0
5	環境に配慮した工事施工	現場	評価点	10.0	10.5	11.0	11.5

備考

- 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.382 k g - C O₂ / k W h
(九州電力調整後排出係数2021年度)を使用。
- 環境配慮型施工とは、再生資源の積極的利用や排出車両における過積載を行わないなど、自然との共生の調和を目指している。



環境経営計画



1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール			
				R5.6~8月	R5.9~11月	R5.12~R6.2月	R6.3~5月
1 電気使用量の削減	事務所 現場	1 不要な照明を消す	土井	●			→
		2 使用していない空調の停止	土井	●	→		
		3 不使用パソコン電源は省電力設定にする	土井	●			→
		4 ブラインドやカーテンを使って熱の出入りの調節	土井		●	→	
2 ガソリン使用量の削減	事務所 現場	1 作業停止時はエンジンを停止する	川原	●			→
		2 社有車の点検整備	川原	●			→
		3 定期的及び施工開始時の機械等の自主点検	川原	●	→	●	→
		4 帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いの励行	川原	●			→
3 軽油使用量の削減	現場	1 作業停止時はエンジンを停止する	川原	●			→
		2 社有車の点検整備	川原	●			→
		3 定期的及び施工開始時の機械等の自主点検	川原	●	→	●	→
		4 帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いの励行	川原	●			→

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール			
				R5.6~8月	R5.9~11月	R5.12~R6.2月	R6.3~5月
1 一般廃棄物排出量の削減	事務所 現場	1 紙以外の媒体使用の推進	土井	●			→
		2 裏紙使用の推進	土井	●			→
		3 分別によるリサイクルの推進	土井	●			→
2 産業廃棄物排出量の削減	現場	1 マニフェストの徹底管理	川原	●			→
		2 産業廃棄物の適正処理	川原	●			→
		3 建設リサイクル率向上	川原	●			→
		4 転用可能な資材の活用	川原	●			→

3. 水使用量の削減

取組目標	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール			
				R5.6~8月	R5.9~11月	R5.12~R6.2月	R6.3~5月
1 節水活動	事務所 現場	1 出しっぱなしにしない	土井	●			→
		2 節水シールの表示	土井	●	→	●	→

4. 地域清掃活動の推進

取組目標	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール			
				R5.6~8月	R5.9~11月	R5.12~R6.2月	R6.3~5月
1 地域環境保全貢献	事務所 現場	1 事務所及び現場周辺の清掃作業	土井	●			→
		2 蕨野棚田のボランティア活動の推進	土井	●	→	●	→

5. 環境に配慮した工事の実施

取組目標	該当事業所	活動項目	担当者	スケジュール			
				R5.6~8月	R5.9~11月	R5.12~R6.2月	R6.3~5月
1 環境に配慮した工事の実施	現場	1 現場廃棄物を適正に分別する	川原	●			→
		2 工事車両の過積載防止とエコドライブ	川原	●			→
		3 再生資源の積極利用	川原	●			→
		4 現場での環境クレームゼロ	川原	●			→
		5 施工提案の実施	川原	●			→

環 境 経 営 目 標 の 実 績

環境目標		サイト区分	単位	基準年 (R4年度)	R5年度目標	R5年度実績	達成率 (%)	目標達成の判定
1	二酸化炭素排出量の削減	全社	k g - C O ₂	112,947	111,817	97,351	115%	◎
	電気使用量の削減	事務所	k W h	10,405	10,301	6,025	171%	◎
	ガソリン使用量の削減	事務所	L	3,617	3,581	3,148	114%	◎
		現場	L	7,858	7,779	7,439	105%	◎
	軽油使用量の削減	現場	L	31,919	31,600	27,085	117%	◎
2	一般廃棄物排出量の削減	事務所	k g	12	12	12	99%	○
	産業廃棄物排出量の削減	現場	t	336.49	333.1	127.5	261%	◎
	建設リサイクル推進	現場	%	95%以上	95%以上	100%	100%	◎
3	水使用量の削減	事務所	m ³	60	59.4	60	99%	○
5	地域貢献 継続維持 ①事務所・現場周辺の清掃	全社	参加回数	12	12	12	100%	◎
	地域貢献 ②蕨野棚田のボランティア活動	全社	参加人数	12	13	15	115%	◎
6	環境に配慮した工事の実施	現場	年間 提案件数	10	10.5	12	114%	◎

* 目標達成の判定基準・◎：100%以上 ○：95%以上 △90%～95% ×90%未満【是正】

備考

1. 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.382 k g - C O₂ / k W h （九州電力調整後排出係数2021年度）を使用。
2. 環境配慮型施工とは、再生資源の積極的利用や排出車両における過積載を行わないなど、自然との共生の調和を目指している。
3. 成率算出式・・・削減目標達成率% = 実績 / 目標 × 100 増加目標達成率% = 目標 / 実績 × 100
4. 産業廃棄物の実績についてはR5.6～10月まで元請工事がなかった為、排出量が発生しなかった。



環境経営計画取組結果と次年度の取組



1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		該当事業所	活動項目		実施評価	次年度の取組
1	電気使用量の削減	事務所 現場	1	不要な照明を消す	○	無理のない活動で目標達成ができたので次年度も引き続き取り組む。
			2	使用していない空調の停止	○	
			3	不使用パソコン電源は省電力設定にする	○	
			4	ブラインドやカーテンを使って熱の出入りの調節	○	
2	ガソリン使用量の削減	事務所 現場	1	作業停止時はエンジンを停止する	○	エコドライブを心掛け、気温が大きく変わる季節は点検・整備を注意したことで目標も達成できたため次年度も引き続き取り組む。
			2	社有車の点検整備	○	
			3	定期的及び施工開始時の機械等の自主点検	○	
			4	帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いの励行	○	
3	軽油使用量の削減	現場	1	作業停止時はエンジンを停止する	○	ガソリン使用と同様、次年度も引き続き取り組む。
			2	社有車の点検整備	○	
			3	定期的及び施工開始時の機械等の自主点検	○	
			4	帰り荷や複数現場への共積み、乗り合いの励行	○	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		該当事業所	活動項目		実施評価	次年度の取組
1	一般廃棄物排出量の削減	事務所 現場	1	紙以外の媒体使用の推進	○	FAXやメールなど紙使用を極力無くすることが出来た。次年度も引き続き取り組む。
			2	裏紙使用の推進	○	
			3	分別によるリサイクルの推進	○	
2	産業廃棄物排出量の削減	現場	1	マニフェストの徹底管理	○	排出量の把握とマニフェストの管理は適切に出来た。次年度も引き続き取り組む。
			2	産業廃棄物の適正処理	○	
			3	建設リサイクル率向上	○	
			4	転用可能な資材の活用	○	

3. 水使用量の削減

取組目標		該当事業所	活動項目		実施評価	次年度の取組
1	節水活動	事務所 現場	1	出しっぱなしにしない	○	外で使用する水道はレバー式を使用し無駄をなくすよう努めた。次年度も引き続き取り組む。
			2	節水シールの表示	○	

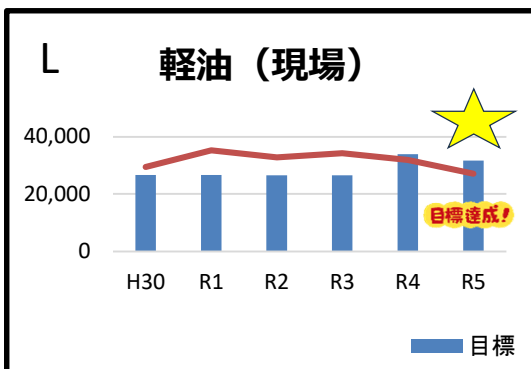
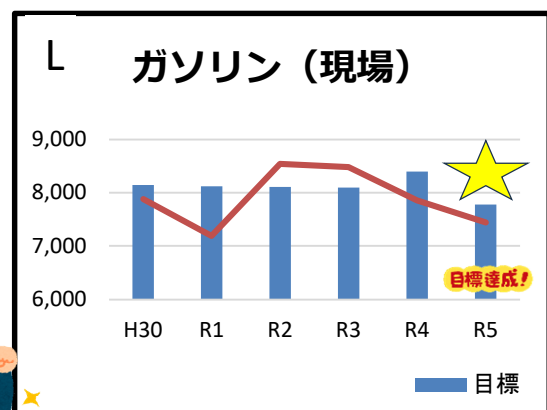
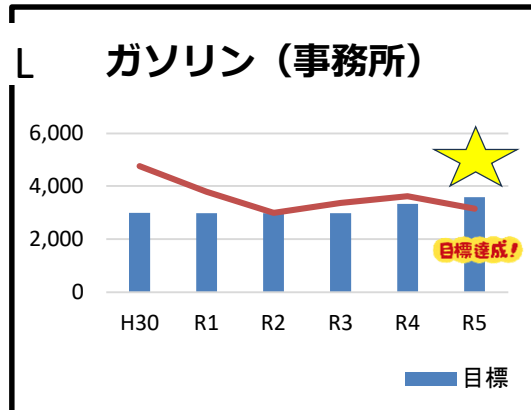
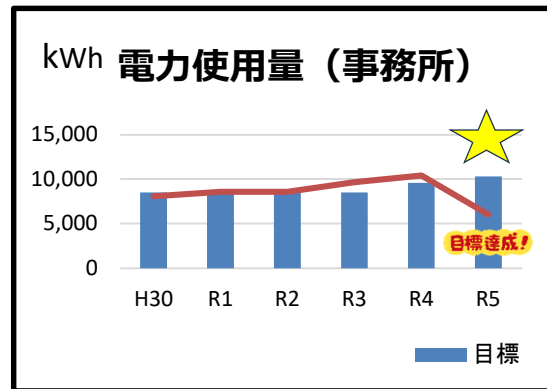
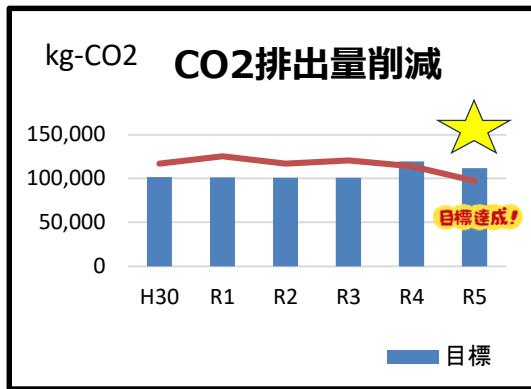
4. 地域清掃活動の推進

取組目標		該当事業所	活動項目		実施評価	次年度の取組
1	地域環境保全貢献	事務所 現場	1	事務所及び現場周辺の清掃作業	○	ボランティア活動では地元イベントのお手伝いが出来、地域貢献につながった。次年度も引き続き取り組む。
			2	蕨野棚田のボランティア活動の推進	○	

5. 環境に配慮した工事の実施

取組目標		該当事業所	活動項目		実施評価	次年度の取組
1	環境に配慮した工事の実施	現場	1	現場廃棄物を適正に分別する	○	常に安心・安全を心掛けながら活動するよう、現場ごとに周知出来ていた。次年度も引き続き取り組む。
			2	工事車両の過積載防止とエコドライブ	○	
			3	再生資源の積極利用	○	
			4	現場での環境クレームゼロ	○	
			5	施工提案の実施	○	

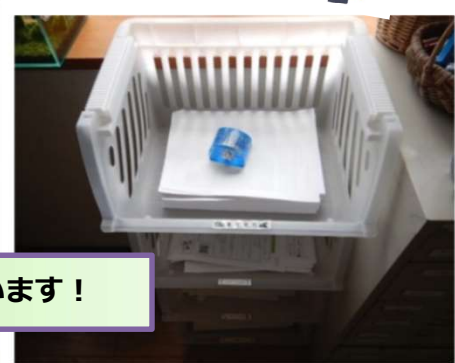
環境経営活動の内容と実績



昨年度、目標の再設定を行ったことにより全て目標達成することができました。
現場の量や施工内容によって燃料などは大きく変わりますが、工夫しながらCO2削減を取り組みたいです。



環境活動もコツコツやっています！



環境経営活動の内容と実績

農林水産省が行っている棚田の保全活動『つなぐ棚田遺産』のオフィシャルサポーターとして令和4年9月に地元『蕨野の棚田』と協定を締結し、今年度もボランティア活動を行いました。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物委託基準の遵守	遵守
	産業廃棄物 処理基準の遵守	遵守
	産業廃棄物の保管、保管の届出	遵守
	収集運搬基準の遵守	遵守
	保管基準の遵守	遵守
	投棄禁止	遵守
	焼却禁止	遵守
	報告義務の遵守	遵守
	建設工事に伴い生ずる廃棄物の処理に関する例外	遵守
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (建設リサイクル法)	建設業等を営む者の責務	遵守
	分解解体等実施義務	遵守
	届出に係る事項の説明義務	遵守
	請負契約に係る書面の記載事項	遵守
	再資源化実施義務	遵守
	発注者への報告等	遵守
	下請負人に対する元請負業者の指導	遵守
特定特殊自動車の排出ガス規制に関する法律 (オフロード法)	特定特殊自動車の使用制限	該当なし
	特定特殊自動車排出ガスの抑制措置	該当なし
騒音規制法	特定建設作業の事前届出	該当なし
	規制基準の遵守	該当なし
振動規制法	特定建設作業の事前届出	該当なし
	規制基準の遵守	該当なし
使用済み自動車再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	自動車の所有者の責務	該当なし
	使用済み自動車の引き渡し義務	該当なし
	再資源化預託金等の預託義務	該当なし
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	特定製品管理者責務 (簡易点検実施) (業務用エアコン使用場合)	遵守
	フロン類の放出禁止	該当なし
特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	事業者及び消費者の責務	該当なし
浄化槽法	設置届出・定期清掃点検の実施	実施済

令和6年5月に、当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。



代表者による全体評価と見直しの結果

8-1. 今回の取組の評価結果

昨年度より目標値の見直しを行い、結果、多くの目標を達成できました。

古い車両等は機会を見ながら新しい物へ購入や交換をしているところですが、建設業界でもIT化が加速しています。

棚田ボランティア活動をととして、この先の未来のためにも、この地域を守っていくためにはより安全に効率的な作業を考えると前向きに検討していかなくてはと考えているところです。

環境に配慮できる工法、もっと工夫しながらエコアクション活動を進めて行くことを今後の課題としたいと思います。

8-2. 見直しの結果

☆環境経営方針

現状の方針で今後も継続する。

☆環境経営目標・環境経営計画

現状の目標・活動を継続する。

☆実施体制

現状の実施体制を継続する。

☆その他の環境経営システムの要素

現状のまま継続していく。



年に数回棚田
ウォーキングも開
催されています



相知町の
観光名所
見返りの滝

(棚田ボランティアの様子)

